

特 集 2

JXTGエネルギーの製造技術部門の改革について

JXTG エネルギー株式会社 取締役 副社長執行役員 の ろ たかし
野呂 隆

日頃より弊社製品をご愛用いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、新しく生まれ変わりました「JXTG Technical Review」の誌面を拝借して、弊社が取り組んでいる製造技術部門の改革について、紹介させていただきます。

この4月1日にJXグループと東燃ゼネラルグループが経営統合し、統合エネルギー会社として「JXTG エネルギー(株)」が発足いたしました。製造技術部門から見ますと、統合エネルギー会社は、11 製油所、5 製造所、原油処理能力約 200万 BD と、巨大な規模を持つことになりました。しかしながら、国内では石油製品の需要減退、アジアでは高効率の製油所の新設と、我々を取り巻く環境は極めて厳しいものとなっており、単に規模が大ききだけではこれらの事業環境を乗り越えられる状況ではなくなっております。今後は、真に国際競争力のある製造体制を築いていく必要があり、以下に述べるような様々な改革に取り組んでおります。

(1) 製油所・製造所の安全・安定操業の確立

装置産業において、安全・安定操業は、お客様にお届けする製品の数量や品質の確保に加え、操業費・補修費等のコスト面からも非常に重要であり、会社全体の競争力に直結しております。このため、JXグループにおいても東燃ゼネラルグループにおいても、安全・安定操業を維持・継続することは最重要課題であり、その達成に向け、様々な取り組みを行ってまいりました。

経営統合後もその方針が変わることはなく、これを機に両社の技術力の強みを活かしていくこと、いわゆる統合効果の最大化を目指しております。今後、弊社は、経営統合前の両社のノウハウを活用し、全製油所・製造所に横串を刺して安全・安定操業と効率化を両立させるための「操業管理の仕組み」を可能な限り早期に整備することにより、安全・安定操業の確立を図ってまいります。

(2) 最適な操業ネットワークの構築

先に述べましたとおり、弊社は全国に 11 ヶ所の製油所、5 ヶ所の製造所を擁することとなりましたので、このポテンシャルを最大限発揮することが重要となります。

各製油所・製造所には、重油の分解能力の高い製油所、弊社や他社の化学品工場と隣接しており、原料・製品の融通ができる製油所、輸出能力の大きな製油所、消費地に近い製油所といった様々な特徴があります。弊社は、これらを活かし、最適の操業ネットワークを構築することにより、国内他社の追随を許さない効率化を達成してまいります。このため、製油所統廃合を含めた「あるべき将来像」を早期に決定いたします。

(3) IT を用いた最新の操業管理の実現

製油所の操業管理は、最新の仕組みを取り入れていくことにより日進月歩の進化を遂げております。弊社は、長年に亘る製油所操業の経験により、大量かつ多様な運転データ、保全データ等を保有しておりますので、これらのデータを有効に利活用すれば、ベテランのオペレーター固有の力に依存することなく、操業管理が行えると考えております。しかしながら、我々の保有しているデータの中には、まだ利活用できていない埋もれているデータが多くあります。最新の IT 技術を駆使したシステムの導入により、これらのデータの利活用を強力に推進し、安全・安定操業と効率化の両立を実現してまいります。

これらの改革に加えて、エネルギー企業としての恒久的な課題である省エネルギーについても、新たな視点から検討し、実践していくこととしております。

他方、短期的な課題としては、経営統合後、3ヶ所の製油所・製造所が川崎地区に集中しておりますので、まずは同地区において、早急に統合シナジー効果を上げることが喫緊の課題であると考えております。

最後になりましたが、私どもは、今般の統合を最強の製造体制を構築する絶好の機会であると捉えており、これにより、皆様に高品質で競争力のある製品を供給してまいります。引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。